

## 『バイオフィロンティアシンポジウム & さんさんコンソ 第9回経営戦略講演会』開催報告

### 【開催概要】

平成24年3月6日(火)、米子コンベンションセンター BiG SHiP(鳥取県米子市)において、「バイオフィロンティアシンポジウム & さんさんコンソ 第9回経営戦略講演会」を開催しました。

本イベントは、鳥取大学 産学・地域連携推進機構、(財)鳥取県産業振興機構、(財)鳥取バイオサイエンス振興会、中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)が、「バイオフィロンティアシンポジウム」と「さんさんコンソ第9回経営戦略講演会」を合同で開催したものです。

今回は、鳥取県米子地区を拠点とした「とっとりバイオフィロンティア」における研究成果の産業化を促進させることを目的に、「地域経済活性化を目指したバイオビジネスと今後の戦略」をテーマに企画しました。また、鳥取県における「経営戦略講演会」の開催は、初めてとなりました。

当日は、講演者・パネラーを除く、56名の方にご参加いただきました。また、夕方からの「情報交換会」についても多くの方にご参加いただきました。

前半の講演会では、医薬・バイオ分野におけるベンチャー企業経営に関して優れた実績を有する、3名の経営者からご講演を頂きました。各講演では、バイオ分野に関わらず、ベンチャー企業の成長のための、会社経営方法について、有意義なお話を聞くことができました。

(株)エヌビー健康研究所・高山氏からは、起業の経緯や、大学研究者の技術発掘や「目利き」そのものを事業とされていること等についてご講演いただきました。ヒュービットジェノミクス(株)・一圓氏からは、最近話題となった「R-1 ヨーグルト」がヒット商品となった経緯や、「地域おこし」等についてご講演いただきました。また、NP O法人バイオチップコンソーシアム・中江氏からは、ベンチャー企業が失敗する原因や、起業における注意点を ご説明いただいた上で、バイオ分野における標準化等について、ご講演いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、パネラーの方から、知的財産戦略や、首都圏と地方の違い等、ベンチャー企業経営における考え方について、討論を頂きました。

パネラーの一人である、(株)アスコルバイオ研究所・代表取締役社長・山本氏には、岡山大学発ベンチャーとして起業された経緯や、地方において事業をする意義等について、ご説明いただきました。また、鳥取県商工労働部 筆頭総室長の岡村氏は、鳥取県におけるバイオ産業の育成も含めた、県の産業振興の施策についてもご説明いただきました。

本イベントの参加者からは、非常に良い内容であったとの声が多く聞かれました。本イベントがきっかけとなり、参加者の方が今後の事業戦略・研究開発戦略への糸口を見出していただき、更なるイノベーションの創出へとつなげていただくことを期待します。

## 【当日のプログラム】

- 開会挨拶：鳥取大学 理事(研究担当, 米子地区担当)・副学長 井藤 久雄

### ≪講演≫

- 講演① 13:30-14:15

題 目：『新しい創薬シーズ開発企業のビジョンとビジネスモデル』

講 師：株式会社エヌビー健康研究所 代表取締役 高山 喜好 氏

- 講演② 14:15-15:00

題 目：『産官学民連携と地域おこし ～セルフログ時代のヘルスケアビジネス～』

講 師：ヒュービットジェノミクス株式会社 代表取締役社長 一圓 剛 氏

— 休憩 15:00-15:10 —

- 講演③ 15:10-15:55

題 目：『研究からビジネスへ ～産業化へ向かうバイオテクノロジーの潮流～』

講 師：特定非営利活動法人バイオチップコンソーシアム 事務局長 中江 裕樹 氏

### ≪パネルディスカッション≫ 15:55-17:05

#### [コーディネーター]

・鳥取大学染色体工学研究センター センター長 押村 光雄 氏

#### [パネラー]

・講師3名:(高山 喜好 氏、一圓 剛 氏、中江 裕樹 氏)

・株式会社アスコルバイオ研究所 代表取締役社長 山本 格 氏(岡山大学名誉教授)

・鳥取県商工労働部 筆頭総室長兼産業振興総室長 岡村 整諮 氏

- 閉会挨拶：財団法人鳥取県産業振興機構 理事長 金田 昭 氏



【会場の様子】



【(株)エヌビー健康研究所 代表取締役 高山 喜好 氏】



【ヒュービットジェノミクス(株) 代表取締役社長 一圓 剛 氏】



【NPO法人バイオチップコンソシアム 事務局長 中江 裕樹 氏】



【パネルディスカッションの様子】



【(株)アスコルバイオ研究所 代表取締役社長 山本 格 氏】